

# 22PO-am007

## Iboga 型インドールアルカロイド類の網羅的不斉全合成研究

○多田 隈太輝<sup>1</sup>, 宮路 和則<sup>1</sup>, 小暮 紀行<sup>1</sup>, 北島 満里子<sup>1</sup>, 高山 廣光<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>千葉大院薬 )

### 【目的】

モノテルペノイドインドールアルカロイドの一種である Iboga 型アルカロイドには、TRPM8 のアンタゴニスト活性を有する Catharanthine (1) やがんの化学療法薬として使われている Vinblastine (2) が含まれる。そこで、これら化合物の効率的な合成法の確立を目指して研究に着手した。

### 【方法・結果】

Diels-Alder 反応により合成した 3 を、酵素を用いた加水分解反応に付すことで光学活性な 4 へと導き、これを共通中間体として 1, 2 両化合物の合成を検討している。5, 7 の合成まで終了しており、インドール 3 位へのアルキル化を経た 1 および 8 の合成についても報告する。

